

女性のための各種依存症からの回復支援施設  
リバティ・ウィメンズハウス・おりーぶ | 広報誌

# リぼーん

# 夏

2022 SUMMER  
Vol.02



あなたにふさわしいやり方で生きてみませんか？

じぶ  
かんへ  
かえろ  
う

olive

おりーぶ

「失敗からの再生・利用者さんの体験談」

夏の特集

2022 recovery  
援助交際から人依存へ…だけど  
私は自分の人生を取り戻す

回復への道は思いがけないきっかけから

おりーぶ はじまりの日

家族会：各種依存症に悩む家族との共感と分かち合い



▲HPへのアクセス  
はこちら

# ごあいさつ

## PRESIDENT MESSAGE



おりーぶのメンバーは、難しい問題に、押しつぶされそうになって、現状を変えたいとここにたどり着いた人たちです。状況や依存の対象は違って、幼少期から周りの大人達との不協和音が生じていた点が共通します。

依存症だということは、「自己責任でしょう」とのご指摘もあるなかでわたしたちは、依存症は心と体をむしばんでいく病気なのだとの認識を持ち、回復を信じて、自分たちも少しずつ成長させていただきつつ毎日を送っております。

年々入所者が増えていっているということにつ

いては、諸説あるとは思いますが世間的にも生きづらさを抱えておられる方が増加傾向であるとも言われております。全ての卒業生が私共のプログラムで、何らかの心の体質改善を経験していただいております。

依存症に対する理解が深まっていくことの助けになることも、私たちの責務だと感じています。

理事長 山本良子

 女性ののための各種依存症からの回復施設 新しく生きる力を育む場所



〒520-0502

滋賀県大津市南小松1594-357

電話：077-535-0313

携帯：080-3508-4091

FAX：077-575-2767

HP：<https://stephouseolive.com>

E-mail：[info@stephouseolive.com](mailto:info@stephouseolive.com)



## 🌿 おりーぶ利用者の声

ニックネーム：チピさん

将来は良いmamaになる



私は大阪出身のかなりの大阪love人です。私の性格としては昔から元気で明るく、皆と過ごすのが大好きです。だが、中学の頃に悪人と出会い、シャブにハマり、水商売で働き、薬物依存になりました。男にも依存がある毎日でした。病気にもかかり上がり下がりのある生活を送っていておりーぶに入所しました。

おりーぶに入所してよかったのは、自分がダメな所が治せれるところです。特に、昔の記憶、日々の事が悪かったのですが、時間をかけよく意識すると返ってきた自分！と思え成長できました。感謝です。皆、何かしらの依存があるので、私も頑張ろうと思えました。今後は薬物をせずに、男の人にはふしめを付けて、昼職をしたいです。目指せ、日焼けサロンの店員！もしくはSHOP店員。今があるから生活をおくれている。なくなると怖い、不安だから、自分は中身のある人生をこれから送っていきたいです。

失敗は成功のもと

ニックネーム：プルメリアさん

私は、小学生の時にいじめにあい、それから人と接するのがとてもいやになりました。眠剤・デパス・覚せい剤を使って現実逃避をする毎日が続いてしまい、おりーぶに入所しましたが、3日目でおりーぶから逃げ出しました。



現在は入所して2ヶ月が経ち、毎日回復プログラムに参加するようにしています。おりーぶに来た時は、まい日、まい日「帰りたい、出たい」という気持ちしかなかったけど、プログラムを受けていく内に、なぜおりーぶに居てるのか意味が分かってきました。クスリを使いたいという気持ちもなくなってきたし、日々自分が変わっていくのが分かるようになってきました。これからもプログラムを続けていって、もしイヤなことがあっても、クスリに逃げないようにしていきたいです。

おりーぶ利用者

# 特集 | ジッポさんの声

# メッセージ



イケない関係・イケない家族  
逃げることで分かった  
そうだ、じぶんへ  
かえろう

## Profile

ニックネーム：ジッポ  
おりーぶの利用歴：2年  
私の性格：おっとり・天然？  
趣味：編みもの  
マイブーム：スパイ×ファミリー  
座右の銘：ケ・セラ・セラ  
一番好きな楽曲：→Pia-no-jaC← / 台風 [Typhoon]  
将来の夢：仲間を助けられる人になる

はじめまして。私はおりーぶに来て  
2年たつ利用者のジッポです。

今年の5月からようやく働き始めて楽しい日々を過ごしています。  
そんな私も **2年前までは地獄** のような日々でした。

私の弟は**重度の知的障害**で、母はそんな弟に疲れてうつになりました。  
一番かまってほしい時、私は**うそつきで忘れ物が酷い子**でした。ある仲間からも  
『わたしくらいひどいね』と言われていました。  
父はそんな私に深くは関わらず、母もそんな感じでしたが、  
中学の頃になって母の態度が変わりました。

**スパルタ**になったんです。

玄関に正座、物で殴る、腹筋100回など色々ありました。  
それでもよその人には『作る』んです、外面を・・・。  
そのくせ家に帰る途端にドロドロなので、**こんな家にいたくない!**と思うようになりました。

そう思った私が出会ったのが**出会い系アプリ**。  
いつも**親に蔑まれる私**が**チャホヤ**されたんです。  
すごく自分を肯定された気がしました。すごくうれしかったです。

・・・でも、何か満たされない。。。という思いもありました。  
この空虚な感じはなんだろう。もっと何かほしい。  
そう思っていた時に声がかかりました。



「一緒にごはん食べない？おこづかいあげるよ。」

このメッセージをもらった時、私はこう思いました。

「私に足りないのはお金だ」と。

調子に乗っていた事もあり、おこづかいを2万円ほどもらいました。

もらったお金が10万円ぐらいになった時、相手の男性からフラれてこの関係は終わったのですが、私はこの時 まだいける。もっと稼げる。とっていました。

しかし、最初に相場よりも少し多くもらっていたのもあり、買い手がなく援助交際は諦めました。

その後社会人になってからは飲食店などでアルバイトをしながらも実家暮らしを続けました。

彼氏もできました。お家の事も色々聞いてくれて相談もよくしていました。自分の働いたお給料は色々あってお家の人に渡していたので相談内容の中のひとつに「私のお給料を母に奪われている」と彼氏に相談しました。



すると彼から『母にお金を使われているのではないか』と言われ、彼氏を盲信してしまっていた私は、「絶対そうだ、逃げなくちゃ!」と思いました。

でも、家から出ること（おり一ぶに入所すること）は、重度の知的障害の弟と老いた両親の老障介護の現場を作ってしまうのか、両親ともう二度と会えないのかなど、葛藤があり一旦は踏み留まりました。

さて、ではなぜ、おり一ぶにつながったのと言うと・・・

**私がブチ切れた** からです。

母とケンカして もうムリだ と思い、市役所に電話しており一ぶを紹介してもらってここに来ました。ためらいがなかったといえば・・・ためらいはありました。

でも、自分の命か、母の命が危険だと思ったから、このままいけば、殺すか 殺されるか してしまう・・・と思いました。

だから来ました。

おり一ぶに来てからは、母に邪魔されてきた人間関係のぶつかりや苦しみ とかを、味わい受け止めながらも、幸せに暮らしています。来てよかったこともたくさんあったし、しんどかったこともたくさんあるけれど、楽しい日々を過ごしています。



もし私と同じような人は、非日常の中に一度身をおいてみるのもまた良いと思います。皆さんのことを、おり一ぶでお待ちしています。

ジッポ



各種依存者家族の自助グループ

# もくせいくらぶ

おり一ぶに入所されているご家族や、各種依存症や精神疾患など様々な理由によって生きづらさを抱えている「女性のご家族」のためのコミュニティ（集いの場）です。

おり一ぶに入所されていない方もお気軽にお問い合わせください。

共感と分かち合いが問題解決の糸口になればと考えています。一人で悩まないで、みんなで生きづらさの回復を目指していきましょう。

日程：毎月第2・第4金曜日

時間：19:00～21:00

会場：非公開につきお問合せください

Tel：077-535-0313（おり一ぶ）

## 回復への道は思いがけないきっかけから

おり一ぶは10年前の2012年、琵琶湖の北西部、高島市マキノ町海津で誕生しました。当初のメンバーは薬物に問題がある仲間が3人と、アルコール依存が1人の計4人。

回復プログラムやミーティング、手作り料理でみんな仲良く

回復のルールに乗っているはずでしたが・・・何かが違うとすぐに気が付いたのです。私のいない間に、かばい合いのルールを作り、隠れて処方薬や、市販薬のやりとりをしていたのです。社会復帰したいと言いながら・・・なんと言うことでしょうか！

話し合いをしても「自分はもう依存症は治った。」ぐらいの事を言いますから、これにはほとんど説得では無理だと感じました。

もちろん薬物やアルコールの心身に及ぼす影響についての話をしても、本人は「自分に限って大丈夫だ。」という認識です。その中、ある1人の女性が通所という形でしたが、摂食障害とリストカットと多量服薬でいつも命のやり取りを続けている状態で、ついには、自分の血を抜く事に終始するようになりました。

その姿を見て、さすがに仲間たちが「アカン、もっと自分を大切にしようよ。一緒に回復していこう。」と言い始めまして・・・一緒に暮らすようになりました。

このような出来事があるって、少しずつではありますが仲間たちの依存症や病気に対する向き合い方に変化が与えられ、回復への道を施設側で全て用意する必要について、疑問を感じる大きな手掛かりとなり、この体験は現在の活動へと繋がっています。

理事長 山本良子

## ご支援のお願い

「リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶ」は、利用者負担のほか、会員の年会費と、個人・法人の皆さまからのご寄付で支えられています。当法人の活動にご賛同してくださる方は、ぜひ、賛助会員としてのサポートをお願いいたします。金額の多寡を問いません。日用品や食料品などの生活物資も大変感謝です。随時受け付けさせていただきます。ご支援をいただいた方にはお礼状を差し上げたく存じますので、E-mailまたはFAXにてお名前とご連絡先（ご住所、お電話番号）とメッセージをお書き添えの上ご連絡をお願いいたします。



### 【支援金 振込口座】

■ 滋賀銀行 / 今津支店（店番716）普通 621483  
特定非営利活動法人 リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶ

### 【物資支援 送り先】

■ 〒520-0502 滋賀県大津市南小松1594-357  
特定非営利活動法人 リバティール・ウィメンズハウス・おりーぶ  
TEL: 077-535-0313

## ご支援いただいた方ありがとうございました

らくだ 穂積 統史 様    きまま亭しま 大嶋 美智子 様  
足立 信子 様            芹澤 元晴 様  
小笠原 浩一 様        香椎 様  
松嶋 豊 様              福井 朝登 様  
白汀苑 今井 一郎 様

ほか、匿名の方々 多数のご支援ありがとうございました。



## 何でもお手伝い屋（株）ねこのて

おりーぶが運営する便利屋さんです。ご依頼・ご相談お待ちしております♪



〒520-0502

滋賀県大津市南小松1594-357

電話：077-535-4495

携帯：090-1677-8068

FAX：077-575-2767

HP：http://nekonotebiwako.com

E-mail: info@nekonotebiwako.com



# 進め！私たちの 回復への道

 お困りございませんか？



滋賀県・京都府を中心に、  
おりーぶが運営する便利屋さんです。  
頼める内容は、盛りだくさん。  
草刈り・荷物運び・畑作業・引っ越し  
不用品の処分・お掃除各種  
お気軽にお問合せください！

おりーぶ 広報誌 りぼーん

発行日：2022年7月1日 初版第1刷発行  
発行元：リバティー・ウィメンズハウス・おりーぶ  
編集人：Web Create Petit-Reve  
印刷・製本：社会福祉法人 いしづみ会  
■事業本部  
〒520-0502 滋賀県大津市南小松1594-357  
TEL：077-535-0313 FAX：077-575-2767

女性のための 各種依存症からの回復支援施設  
新しく生きる力を育む場所



おりーぶは、薬物・アルコール依存症  
摂食障害など各種依存症に悩む  
成人女性のための回復支援施設です。

お酒、薬物をやめたい  
いつも寂しいかんじがして虚しい・・・

おりーぶはそんな女性のたちの回復の場です。

IBNS 978-4-76308-099-1

C9496 定価 無料・ご自由にお持ち帰りください